

厄介な雑草にご用心ください！

1 ナガエツルノゲイトウ

県南地域では、新利根川流域などで発生が確認されています。現在、土浦市、石岡市、かすみがうら市で農地への侵入は確認されていませんが、注意が必要な「特定外来生物」です。発見した場合は、市の農政担当課までご連絡ください。

(1) 特徴

- 南米原産の多年草。
- 水路、河川、ため池などに生育し、土壌中に根を張る。水面上に茎や葉を伸ばし、水面を覆うこともある。
- 花をつけるが、種子は形成しない。茎は、節があれば容易に再生する。
- 最適な生育温度は約 30℃だが、冷帯でも生育できる。萌芽の開始温度は 5～10℃。
- 乾燥に強く、水辺だけでなく陸上にも侵入する。

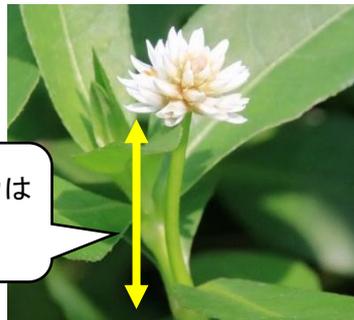


(2) 判断のポイント

- 葉は節から対になって生えており、茎はストロー状である。
- 花はシロツメクサに似ている。花柄の長さで他のツルノゲイトウと判別できる(図1)。
- 植物体が小さいうちは判断が難しく、夏～秋頃に開花した花で判別する。

(図1)
花の判別

ナガエツルノゲイトウは
花と葉に距離がある



他のツルノゲイトウは
葉の近くに花が咲く

(3) 対策

- ドリフトに注意して、浸透性の高い除草剤(グリホサート系)で根まで枯らす。また、崩れやすい畦畔では、浸透性の低い除草剤を用いる。(表1)
- 刈払機での除草は控える。(切断片が飛び散り、生息域を拡大させるため)
- 取水口の周囲をよく観察し、ナガエツルノゲイトウの侵入に注意する。



(表 1) ナガエツルノゲイトウに使用可能な除草剤

商品名	使用時期	本剤の使用回数	適用場所	成分	成分使用回数
ラウンドアップ マックスロード	収穫前日まで (雑草生育期)	3回以内	水田畦畔	グリホサート	3回以内
プリグロックスL	雑草生育期	5回以内	水田畦畔	ジクワット/ パラコート	5回以内/ 5回以内

資料の作成に当たっては、農業使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農業を使用する方は、必ず使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農業の誤った使用を行わないようにしてください。
農業登録確認日 R5年6月13日

2 レンコンネモグリセンチュウが寄生する雑草

- ・ 数種の雑草の根にレンコンネモグリセンチュウが寄生することがわかっています(表 2)。
黒皮症対策のためにも、これらの雑草防除に努めましょう。

(表 2)レンコンネモグリセンチュウの寄生が確認されている雑草

科	雑草名	生育期間	特徴
ミズアオイ科	ミズアオイ	4～11月	<ul style="list-style-type: none"> ・種子で繁殖する一年草。 ・春に発芽し、夏～秋に開花し、種子を成熟させる。 ・スルホニルウレア系除草剤の抵抗性個体が発生している。
オオバコ科	ミズハコベ	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・主に越冬した茎や茎の切片で繁殖する多年草。 ただし、種子でも繁殖できる。 ・比較的低温の水中に発生し、凍結しない場合は冬期間も生育できる。
イネ科	アゼガヤ	5～11月	<ul style="list-style-type: none"> ・種子で繁殖する一年草。 ・春に発芽し、横に這いながら、各節から根をおろす。田の畦畔周辺などで大きく広がり、成長する。 ・夏～秋に多数の分枝に小穂をつける。1株の植物体に10万粒以上の種子をつけることがある。
	タイヌビエ	4～11月	<ul style="list-style-type: none"> ・種子で繁殖する一年草。 ・総称してノビエと言われる。 ・秋期に成熟した種子は春以降に発芽する。 ・種子は土壌中で10年ほど生存するため、一度発生したほ場では注意が必要。

熱中症を予防しましょう！

- ・ 日中の気温の高い時間帯に、作業しない。
- ・ なるべく 2人以上で作業する。
- ・ のどの渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給する。
- ・ 帽子や吸湿速乾性の衣服など、熱中症対策アイテムを活用する。

